

12月6日(月)全校朝会

まず初めに、元気よく朝の挨拶をしましょう。おはようございます。

先月 11 月は「ふれあい月間」でした。取組の一つとして、「いじめについてのアンケート」を全学年で行いました。結果を見ますと、ひどいことを言われたという暴言やたたかれたという暴力などのいじめが、北ノ台小でも少なからずあるようです。学校に来て辛い思いをしている人がいるのは、とても残念なことです。そこで、今日は「暴言・暴力は許さない」という話をします。

「暴言」は、人の心を傷つける言葉です。「暴力」は、人の心や身体を傷つける行動です。どちらも決して許されないことです。そして、「暴言」や「暴力」は、皆さん子供たちだけではなく、先生方や他の大人であっても決して許されないことです。

先生方は、皆さんが立派な人になるように色々なことを教えてくれています。そして時には、皆さんを注意したり、叱ったりすることがあります。皆さんが立派な人になるためには、そうしたことが必要なこともあるからです。先生方は、皆さんのことを考えるからこそ、愛情をもって注意したり、叱ったりしているのです。でも、もし、先生の言葉や行動で皆さんの心や身体が傷ついているとしたら、それは「暴言」「暴力」となります。

そこで皆さんに協力して欲しいことがあります。それは先生の言葉や行動が皆さんの心や身体を傷つけていないかを教えてほしいのです。そして、もし傷ついている人がいたときにはお話を聞かせてください。そのためのアンケートを今週行います。詳しくは、担任の先生からお話がありますのでよく聞いてください。

今月、12 月は一年を締めくくる大切な月です。みんなで力を合わせて、北ノ台小学校を暴言や暴力のない笑顔あふれるごきげんな学校で新年を迎えられるようにしましょう。

今日は、「暴言・暴力」は決して許されないという話をしました。お話を終わります。

